

注）映像の公開には一定の期間を要することがあります

スマホで読み取ると録画映像が見られます！

顔写真の左の二次元コードを



追跡！過去の定例会でも質問

政策提案 災害発生時の防災 危機管理は

防災危機への備えは

問 災害発生時の対応、防災危機への備え、生命と財産を守るべく自助・公助・共助の原則を通じ、防災・減災に対する災害発生後の復興活動について伺います。

図り、災害予防、応急対策及び復旧・復興に至る連環の防災活動を実施することで、防災力の向上に努めています。

計画に基づき対応

答 町では地域防災計画に基づき、関係機関と情報共有を



令和元年 台風19号時の荒川



13 危機発生時に具体的な対策を



追跡！過去の定例会でも質問

政策提案 職員の名刺代等 「自己負担ゼロ」へ

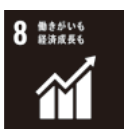
職員自己負担はなくすべき

問 名刺や会合会費は、多くの自治体で職員自己負担となつていますが。寄居町として基準やルールを設け、職員の負担軽減を図る必要があります。負担を減らし職場の魅力を向上させることは、将来の人材確保にもつながります。

答 今年5月から公費で名刺用台紙を準備し、庁舎内で自作できる環境を整備。団体の会合等での食事費等は従来同様、個人負担と考えています。



今年度から50枚まで公費負担



8 働きがいも経済成長も



追跡！過去の定例会でも質問

政策提案 窓口「軟骨伝導 イヤホン」導入を

当町としての見解は？

問 日本の難聴者は人口の10%、人数に換算すると約1300万人に上り、今後さらに増える見込まれていきます。耳の聞こえにくい方々が安心して相談・手続等できる環境づくりのために、軟骨伝導イヤホンの速やかな導入を提案しますが、町の見解を伺います。

答 様々な行政サービスの提供において社会的障壁の除去と町民との意思疎通に努めています。今後先進自治体等を参考に検討します。



吉見町役場窓口ですすでに実施



3 すべての人に健康と福祉を



追跡！過去の定例会でも質問

政策提案 西部公民館に 洋式トイレ設置を

トイレ、昇降設備の改修を

問 西部公民館は、各種趣味の教室が開講された生涯学習の拠点、さらには災害避難所の指定施設です。超高齢化社会の進展で利用者は高齢者が多く、トイレや階段の昇降には大変苦労しているのが現状です。一日も早い設備の改善について伺います。

答 公共施設等総合管理計画における施設の在り方と併せて検討します。避難所指定の地域公民館の状況を考慮し、設備の設置を検討します。



トイレ入口の段差もバリアフリーに



11 住み続けられるまちづくりを



追跡！過去の定例会でも質問

政策提案 学校統合の説明会、 改めて開催を

再度保護者への説明を

問 5月9日の説明会は、折原・鉢形地区の住民が誰でも参加できる初めてのものでした。数人の保護者から「初めて見る資料であり、再度説明会を開いてほしい」という声がありました。各学校に向いて説明会ができませんか。

答 ワークショップの様子を地域の回覧でお知らせしてきており、説明会の結果は町ホームページにも掲載しています。再度開くことは考えていません。



5月9日の城南中での説明会



4 質の高い教育をみんなに



追跡！過去の定例会でも質問

政策提案 食用油リサイクルへ 回収ボックス設置を

家庭廃食用油の回収を

問 廃食用油を精製してバイオディーゼル燃料としてリサイクルし、ディーゼル車へ使用することで排出されるCO₂の減少、硫黄酸化物は約90%、黒煙は約60%と大幅に減少します。環境負荷の低減に効果がありますが、回収ボックスを設置できないでしょうか。

答 現在設置の考えはありますが、再資源化及び減量化は環境行政における大きな課題。リサイクルに係るコスト等の研究を進めていく考えです。



家庭使用後の食用油を再資源化



11 住み続けられるまちづくりを



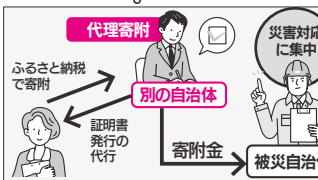
追跡！過去の定例会でも質問

政策提案 「災害代理寄附」で 被災地に支援を

ふるさと納税の活用を

問 被災していない自治体が代理で寄附を受け付け、納税証明書発行などの業務を行う「災害代理寄附」は、ふるさと納税を活用した自治体間の助け合いの仕組みです。寄附者の税控除もあるこの制度の実施は。

答 能登半島地震では義援金



必要経費を除き全額「寄附」へ



3 すべての人に健康と福祉を

変わる！議会／ チーム議会の底力

Vol.4

「聴く・動く」の実践で 議会改革に邁進！

- ◆第38回 町村議会広報全国コンクール 2連覇（日本一6度目）
- ◆第18回 マニフェスト大賞 コミュニケーション戦略部門最優秀賞
- ◆全国町村議会議長会町村議会特別表彰

「議会だよりが町民の声を丁寧に拾い上げ住民自治の窓口としての機能を果たしている」との評価をいただきました。

笠原則夫副議長の辞職に伴い 副議長に権田孝史議員を選出



議員のあるべき姿を見直し、町民の声を「聴く・動く」で議長を補佐し、職務に努めてまいります。